

## 心ひとつに比例は共産党



長野3区衆院予定候補  
渡辺 正博

6月半ばの数日間は、「解散があるかもしれない」という緊迫した日々でした。ちょうどこの時期を前後して、北陸信越5県のキャラバン宣伝を行ったことはタイミング的にもとてもよかったと思います。

結局、岸田首相は解散を見送りましたが、キャラバンにはどこでも多くの方が参加し、本番に向けたいい準備になりました。参加した方から、「藤野さんの顔を見たら改めてやる気がわいてきたよ」と熱い激励をいただき、私自身、議席奪還の決意を新たにしました。

今回、北陸信越ブロックの比例代表の定数が11から10に減らされます。それだけ1票1票の価値が大きくなります。ブロック5県心ひとつに「比例は日本共産党」の大波を起こしましょう。

前衆議院議員 藤野やすふみ

最新の活動やお知らせを配信中!

日本共産党 藤野やすふみ公式LINE

ぜひご登録ください!



思い切ってお友だちにも広めてみてください!



藤野保史公式LINE。鮎沢県委員長の次男さんが作って下さったバナー広告。

## 議会傍聴記

知事をはじめ各部長はほとんどが従来どおりで目新しい回答はなく、「真剣に考えているのか」と思わざるを得ませんでした。藤岡さんは「医療費、教育の問題でも、地域回りで寄せられた県民の切実な声をぶつけて、解決を要求。これには県側からも反論出来ませんでした。短い時間でしたが、県民の声を真正面から代弁できる藤岡さんを「県議会に送り出せて本当に良かった」と思った傍聴でした。「帰りは善光寺参り」と門前まで行きましたがタイムアウト。車内から善光寺さんを拝んで帰路につきました。次回からはみんなで行きましょう。佐久市エム・ワイ

4年間の難難辛苦を耐えて当選した藤岡県議の県議会質問の傍聴に8人で行ってきました。まず県議団控室を訪問しお茶をご馳走に。居合わせた藤岡さんはちよっと緊張しながら、のどの不調からくる咳を気にしていました。午後の開会、いよいよ登壇です。咳もたいしたことなく、あいかわらぬの美声(心)次から次へと質問。子供の医療費助成、教育費の保護者負担の軽減、米軍機の低空飛行の対応について県にたいして改善・対応の強化を提案しました。



## 藤岡県議 再デビュー

## 平和行進に参加して

何年ぶりかで行われた平和行進。

以前は新婦人で接待(きゅうりに味噌、菓子、麦茶)を担当したが、今年はなかったので行進に参加することに。でも私は腰の調子が悪いため、日陰に車を止めて「きつくら」の交差点まで歩き、行進が来るのを待った。知人の家の窓際に腰掛けさせてもらいおしゃべりをして待った。

マイクの声が聞こえてきて、組合旗やタペストリーをもった30名くらいの人たちのなかに私も交じって行進した。知人も手を振って送ってくれた。

ほんの10分位の小雨下の行進だったけど、今までで初めての事だった。一歩でも2歩でも平和を願って歩く、その一人になれてよかった。

佐久市白田 工藤 美春

## 再び

## 県議会が近くなった

6月27日は藤岡県議の再選後初めての一般質問。佐久から8人が参加しました。質問項目の①子ども医療費助成制度について ②教育費の保護者負担の軽減についてに対し、県側の答弁は、財政問題を口実にして県民の願いにはすべて背を向けるものでした。更に③米軍機の低空飛行への対応についてでは、阿部知事に対し低空訓練の中止を米国外使館に直接求めるよう要求すると「そんな緊急性があるとは思えない」と県民の命を守る姿勢が全く感じられない不誠実な答弁でした。藤岡県議の質問は、住民の声を確実に届ける意欲を示し県側に宿題を提起するなど、元気はつらつらの始動を示すものでした。

議会の傍聴は選んだものの責任です。次回12月議会はもっと大勢の参加で。

とっちゃん作

《俳句》  
雨上がり うかれ蚯蚓のなれの果て

《俳句》  
葦切の住処となりし 我が田かな

梅雨晴れや 宝剣岳の そそり立つ

## 《川柳》

沖繩は また捨て石か「慰霊の日」

権力を握れば 戦争したくなり

後の余の歴史が評価 政治家よ

## 消費税増税、インボイスの危険

消費税の「インボイス増税」が10月から強行されようとしています。

現行の消費税制度は、売り上げにかかる消費税額から仕入れにかかる消費税額を引いて（仕入れ税額控除）、1000万円超の課税業者が納税する仕組みです。1000万円以下の非課税事業者からの仕入れは、帳簿をもとに仕入れ税額控除しています。

インボイス制度は、この帳簿方式を廃止し、個人番号付きインボイス（適格請求書）がないと、仕入れ税額控除ができない仕組みにします。インボイスがない業者は、税務署に申請し消費税課税業者になる必要があります。事務負担と過大な納税、混乱が待ち構えています。

たとえば、シルバー人材センターは、年間50万円程度の収入の高齢者でもインボイスに登録して消費税業者にならなければ、人材センターは仕入れ税額控除ができず運営が苦しくなります。

農産物直売所もそうです。直売所に野菜・果物を納める高齢者に消費税課税業者を迫るか、納入手数料を上げざるを得ない直売所もあるといえます。演劇やフリーランスの人たちも数100万円の収入でも消費税納税になります。

反対の声が広がり、岸田自公政権は、6年間の経過措置を発表しました。しかし、「もうやめる」という高齢者がいます。廃業準備期間になるでしょう。消費税本体の税率アップが言われています。軍事費の2倍化路線で、財界の要望です。「岸田消費税増税」の先駆けであり、次の総選挙の大きな争点です。

軽井沢町議 中沢睦雄

## 廃業する仲間もでてくる！

インボイス制度によって事実上の増税となり、事務負担も大変になります。当面延期、もしくは中止にしないと廃業する仲間も出てきます。

私は長年、大工をやってきました。まだ、秋まで様子見の仲間もいますが、自分は登録しないつもりです。

仕事が落ち込み、世の中も明るい兆しが見えてこない。『弱い者の味方』である共産党には、「もっともっと頑張ってもらいたい」「国民へのアピールを強めてほしい」と思います。

佐久市 建設業 KFさん

# ストップ！

## 「マイナンバー+保険証」 新たな増税インボイス！

どっちからも悪制度

毎日苦勞様です。企業経営の立場からもインボイス方式実施延期を求めます。マイナンバー制度による健康保険証廃止方針撤回を求めます。どちらも悪制度！頑張ってください。よろしく願います。  
(立科町・経営者)

個人を相手の仕事ではインボイス登録をする必要もないのですが、会社の福利厚生で頼まれる時には、「税金分を負けろ」と言われると思います。「10%はとても重い」と思います。

(カイロプラクティック 立科町)

## 学校給食費「無償化の継続を」！

PTAが議会に陳情 佐久穂町

佐久穂町は、コロナ禍での経済対策として給食費無償化を実施してきましたが、国の感染症対策法の変更、学校給食法11条（保護者負担）を理由に、3月の当初予算に保護者の一部負担（1/3）を計上。党議員団は、「値上げラッシュが続くなか、さらに家計に負担をかけてはいけない、学校教育法・食育基本法にてらして無償化にするべきだ」と反対しました。

保護者に対しても事前に説明がなく突然のことで納得できず、中学校PTAでは「学校給食費無償化に関する陳情書」を総会で決め、6月議会に提出。陳情項目は、①佐久穂中学校における給食費の無償化の継続 ②恒久的な無償化が実現するよう政策検討すること。です。議会では賛成多数で採択。町も6月補正予算で、国の交付金を使い無償化を予算化しました。

佐々木信幸議員の一般質問に対し町長は「無償化を令和6年度5カ年実施計画に計上する予定」と答弁しました。今後の動きを注視していきます。

佐久穂町議 高見澤春野



## 「マイナ保険証中止を求める意見書」上る！ 立科町

6月議会に佐久社会保障推進会議より「マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める陳情書」が社会文教建設常任委員会に係り、公明などの反対で不採択となりました。

私村田は本会議討論で、『マイナ保険証の誤登録や個人が特定できずに10割支払いなど問題が噴出し、国民の72%が導入に反対していること』を示し、「安心して反対してほしい。町民の意思を示そう」と訴えました。採決では6:5の僅差でしたが可決。方針撤回を求める意見書が挙がり政府に送られました。

インボイス制度の延期を求める請願は、「気持ちわかるが、遅すぎる」との理由で意見書を挙げない趣旨採択に。介護保険・国保事業の改善を求める意見書も採択。安保関連3文書撤回・平和外交を求める陳情は継続。働きかけが必要です。立科町議 村田桂子

